

理事長挨拶

新しい年を迎え、今、練習に一生懸命と
思います。

昨年は大変素晴らしい試合を見ることが
できました。各チームの練習の結果と思
います。

今年は昨年以上の素晴らしい試合ととも
に、千葉県で優勝、そして全国大会出
場をめざして各チーム頑張って下さい。

また、今年は少年学童野球が5月に行
われる少年少女交歓大会の当番とな
りました。どうか各チームの協力を
お願いします。

大会あるいは練習試合等で送迎を行
う場合、事故等に十分注意される様
をお願いします。

昨年、高瀬町グラウンドD面の裏で事
故がありました。今年の大会からC面
からE面までの通路での練習につ
いては何かの規制をすることを検
討しています。みんなが通る狭い
ところです。大会中、看板を掲げ
ますので協力よろしくお願いします。

では、今年も各チームの健闘をお祈
りします。

ホームランニュース

船橋市野球協会少年学童部発行

<http://www.funabashi-gakudou-baseball.jp/>

平成二十年新年会

平成20年学童部の最初の行事、新年会が一月十九日「フローラ西船」において行われました。清水西部支部長の開会の辞に続き、河崎理事長の挨拶がありました。



河崎理事長

だが、挨拶に先立ち、昨年暮れに逝去された前原エイトマン橋詰代表のご冥福を祈り、黙祷がさげられました。その後、野球協会大沢会長、社会福祉協議会加藤会長、教育委員会生涯学



藤代市長

習部中台部長の挨拶があり、齋藤学童部顧問の乾杯の首頭で懇親が開始されました。総勢約一〇〇名の出席があり、早速練習試合の調整などが各所で進められてい

ました。所用のため途中からの出席となった藤代船橋市長からは、昨年の市立船橋の甲子園出場にからみ、学童部出身の生徒を大勢入学させてほしいとの挨拶がありました。また、二〇一〇年の

国内開催に向けて運動公園の野球場を改修するが、限られた予算の中ではあるが、皆様の期待に応えられるような改修を行いたいと言った話がありました。各所で歓談が盛り上がる中、次回幹事の南部支部谷田部副支部長の中締めで盛会のうち閉会しました。



大沢会長

20年の最初の発刊に当たり、昨年「青年の船」団長を努められた船橋市教育委員会生涯学習部長の中台雅幸様より寄稿いただきました。

スポーツと健康

中台雅幸

文部科学省の調査によると、子供の体力は以前に比べてと低下しているとい

う。これは、外遊びが減るなどしたためとみているようです。昔前は、子ども達は遊びのなかで走ったり、跳んだり、投げたりして、無意識のうちに運動能力を身につけていました。しかし、今は昔のような遊

び場所もなくなり、社会環境も大きく様変わりしました。そのかわり、地域にはボランティアによる多くのスポーツクラブがあり、熱心な指導者のもと協議を楽しく子どもが増えています。一方、スポーツに興味の無い子どもも多く、先の調査結果につながっていると思われま

す。子どもにもスポーツに対する興味を持たせるためには、親も自らスポーツに親しむ姿を見せることが必要です。そして、多くのスポーツを経験させることが運動能力や体力向上につながると考えます。船橋市では、人もまちも健康でありたいとの願いから、昭和58年10月に「スポーツ健康都市宣言」を行い、各種スポーツ施設の整備やスポーツ振興体制の整

備など、市民の皆さんがスポーツ、レクリエーションに親しむ環境作りに努めてまいりました。以来、野球、サッカー、バスケットボール等、さまざまなスポーツが地域をはじめ小学校、中学校、高校で活発に行なわれ、現在、大きな成果を挙げています。これもひとえに、船橋市野球協会少年学童部の皆さんをはじめとするスポーツ関係者の長年の

尽力の賜物であると感じ、心より感謝いたします。市といたしましては、これからも市民のみなさんがスポーツを通して多くの仲間とふれあい、健康で生きがいを持って毎日が暮らせるよう皆さんと協働してスポーツの振興に努めてまいりますので、引き続き皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

妻鹿さん(若潮スワローズ)

優秀賞受賞

第29回船橋市写真展(20年1月18日)1月27日船橋市市民ギャラリー)で若潮スワローズ所属の妻鹿さんの学童野球を題材にした組写真が優秀賞を受賞

しました。組写真の部出展93作品のうち優秀賞受賞は5作品で、その5作品の一つが妻鹿さんの作品です。タイトルは、炎下の中で決勝戦

で、昨夏の第32回少年学童野球選手権大会決勝戦の写真4点の組写真です。炎天下で優勝を目指して戦う選手達の生き生きとした表情がよくとらえられた素晴らしい写真です。

妻鹿さんは長年学童野球指導者及び役員として学童野球の発展に寄与するとともにいつもカメラを手にされて、高瀬や若潮での選手たちの姿を毎年、船橋市写真展に出品して、学童野球の素晴らしさを広く伝えて下さっています。

妻鹿さんのコメント「こ



受賞した4枚組の作品



れからも、選手たちの頑張る姿をカメラにおさめて、写真を通してできるだけ多くの方に学童野球の素晴らしさを知っていただけるように、私も頑張っていきたいと思います。

NTTドコモ

野球教室

IN若松公園



NTTドコモコーチ・選手陣

19年度最後の行事であるNTTドコモ野球教室が、3月2日好天のもと約五百名の参加者を集め若松球場で行なわれました。ドコモ野球部のコーチ、現役選手に加えて、今年はアテネ五輪で全日本のヘッドコーチを務めた元ジャイアンツの中畑清氏が特別講師として参加されました。

佐藤監督の挨拶、コーチ、選手の紹介のあと、ランニング、ストレッチに続き実技指導に入りました。最初に参加各チーム代表選手に



打撃指導中の中畑コーチ



終わりに参加者を代表してホワイトビーストラングの川口拓馬君の素晴らしいお礼の言葉で野球教室を締めくくりました。

19年度最後の行事であるNTTドコモ野球教室が、3月2日好天のもと約五百名の参加者を集め若松球場で行なわれました。ドコモ野球部のコーチ、現役選手に加えて、今年はアテネ五輪で全日本のヘッドコーチを務めた元ジャイアンツの中畑清氏が特別講師として参加されました。

市審判講習会

今年の市審判講習会は例年通り二月第一日曜日に東・北部支部、翌週に西・南部支部の順で行われました。一回目の三日は夜半からの降雪・積雪のため、会場を急遽、若松公園球場から青少年会館に変更して行われました。翌週の天気予報も土曜日から雪、先週よりも積るとのことで、開催が心配されましたが、当日は穏やかな好天気、前日の雨のため内野は使用できま



19年度支部対抗戦

西部支部久々の優勝

年内最後の学童部行事の支部対抗戦が、十一月二十三日若松公園球場で開催されました。事前の抽選の結果一回戦は、二連覇を狙う北部支部対東部支部、西部支部対南部支部の組み合わせとなりました。

A面で行なわれた、北部と東部の一戦は東部支部が三回までに9点をリードしあわやコールド、北部の連覇もこれまでかと思われましたが、4回、5回と大量11得点し大逆転、東部支部最終回の反撃を1点に抑え、なんとか決勝戦進出を決めました。

B面で行なわれた西部・南部の戦いは、こちら南部支部が三回までに5点をリードしこのまま逃げ切ることと思われましたが、A面同様西部支部が5回までに同点に追いつき、そのまま7回を終了しました。サドネスに入り、お互い1点ずつの得点で決着が着かなかったため、時間の関係から代表によるジャンケンで決めることになりました。

三回先勝ちのジャンケンは清水西部支部長が権田南部支部長に大勝し、久々に西部支部が決勝戦に進めました。

優秀選手(別掲)の後行なわれた決勝戦は、ジャンケンで勢いをつけた西部支部が序盤に7点を取り、一

秋季大会・新人大会

11月11日、前日の雨のためグラウンド整備を入念に行い予定より15分遅れで始まった新人大会の決勝戦は夏見台アタックスとホワイトビーストロンクの対戦でした。準々決勝、準決勝を1点差で勝ちあがってきたホワイトビーストロンクに対し、1回戦以外は順調に勝ってきた夏見台アタックスと対照的な両チームの戦い、続く7回にも四球を足掛りに2点を追加、試合は決まったかに見えましたが、アタックスもその裏打者一巡の猛攻で同点に追いつき、延長戦に入りました。

8回は両チームとも無得点、9回はホワイトは一死満塁から押し出しのフォアボールを選んだものの後が続きませんでした。一点を追うアタックスは3番からの好打順でしたが、三者凡退でゲームセット、二時間五七分に及ぶ熱戦は一点差でホワイトビーストロンクが三年ぶりの優勝を果たしました。

なお、3位は塚田クラブ、海神スパローズでした。引きつづき、行なわれた秋季大会決勝戦は夏季大会優勝のさざんかポニーズと春季大会決勝戦で負けた習志野台ワンパクスを準決勝で破ってきた夏見台アタックスとの対戦になりました。当日の天候と長時間か



表彰式はナイター?



優勝した西部支部

優秀選手表彰

平成一九年度

平成一九年度の学童部優秀選手の表彰式が昨年十一月二十三日、若松公園球場において行なわれました。当日は例年どおり支部対抗の決勝戦の前に、春・夏・

- 優秀選手
- 優 海口濱野林谷井佐川辺坂代藤沢橋野木子内上野内井島口藤屋戸藤
 - 秀 太太平輝秀斗也臣将郎一平新音誠郎輔聖貴介優也久平尚樹士生浩
 - 選 優啓惇準 優和敬亮慶優航 和一裕恒弥雅晋 達愉康惟大遠 考
 - 手 黄山小高小関石土宮渡早千伊仲高佐宮金竹井星森藤福関齊森神佐



優秀選手表彰受賞者

かった新人戦の影響で、途中から照明を点けての試合となりましたが、お互いに二つずつのダブルプレイを成功させるなど、新人戦とは違って変わり、締まった好ゲームとなりました。試合は3回にヒットと相手のエラーをからめて3点を先制したアタックスが、さざんかの反撃を最終回の一点に抑えて、三年ぶり、また今期初の優勝を飾りました。三位は準決勝で敗れた、習志野台ワンパクスと、法典コンドルの両チームでした。

なお、この大会のベスト4は珍しく各支部から一チームずつ勝ち残りまし